

コルザはフランス語で「菜の花」生活クラブ虹の街の機関紙です

生活クラブ虹の街は生活クラブ千葉の通称です



フリーゾーン宣言は国内・世界に向けての宣言です。食べる側の私たちは、GMOフリーゾーンサポーターとして宣言活動実施中です。詳しくはこちら→



目次

- 2 活動ファイル：GMOフリーゾーン全国交流集会 トマトの収穫労働参加者募集
- 3 ひと：元気クラブ・村悟空の生産者 ブロック活動ファイル：柏 千葉
- 4 特集：コミュニケーションひろばを利用しよう！
- 6 千葉グループからのお知らせ：風の村 アーシアン はぐくみの杜を支える会
- 7 JFSA からのお知らせ 第48回通常総代会 傍聴のご案内  
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント 千葉県からのお知らせ
- 8 今月の消費材：元気クラブ 5月のデポー

① GMOフリーゾーンを宣言する新しい大看板を、千葉県旭市に設置。2月17日に除幕式を行いました ②除幕式には、看板用地を提供していただいた金谷斌さん（前列中央）・元気クラブの皆さん・組合員が参加しました ③大きな看板が立てられないところでは、小サイズの看板でフリーゾーン宣言！ ④八街にある虹と風のファーム「ふあそらん」（上で発電、下で畑）にも、中サイズの看板をつくりました

理事会だより（3月議事抜粋）

組合員の皆さんに3月理事会の報告をします。

3月理事会は実出席とオンライン出席の併用で開催しました。

- ① 環境・平和委員会と柏ブロックでのデポー松葉町のCO<sub>2</sub>内部監査は、1月23日の現地監査で終了したことが報告されました。
- ② ブロックやコミュニティでよく利用されている「コミュニ

ケーションひろば」の2023年度開催実績の確認・2024年度の講座登録が承認されました。

③ 2024年度の生活クラブでんきの推進活動は、スイッチング数200件を目標に、多くの組合員に直接語りかけ、共感を高め、生活クラブでんきを利用する組合員を増やすことで、原発に頼らないで安心して暮らせる社会につなげます。

2月の組織報告 総供給高 704,083,365円  
総組合員数 43,863人（班4,226人 個別21,587人 デポー11,829人 その他6,221人）

## GMO フリーゾーン運動 全国交流集会 in くまもと



2月24～25日、グリーンコープ生協くまもとが受け入れ団体となり、くまもと森都心プラザで開催。環境・平和委員会からは、2人参加しました。

### 1日目：学習・報告会

GMOフリーゾーン（遺伝子組み換えされた作物や動物を栽培・養殖しない・使用しない・消費しない）運動はイタリアから始まり全土の約80%、フランスで1000を超える自治体、オーストリアやポーランド・ギリシャは政府が行っています。日本では環境に配慮した米作りを行っていた滋賀県高島市の農家が2005年1月、圃場に大きな看板を立て、GMOフリーゾーン宣言したのが始まりです。翌年3月に第1回GMOフリーゾーン全国交流集会を同市で開催後、ほぼ1年に1度開催し、今年で18回目になりました。

基調講演は、「食とタネの危ない現状」。東京大学大学院教授の鈴木宣弘さんは144枚のスライドを使用し、「米露核戦争が起きた場合、物流停止による

飢餓死が世界の30%を占め、食料自給率の低い日本はその中に含まれる」と警鐘を鳴らし、「国内・県内・地域で自給できるよう生産者と消費者が力を合わせることの重要性や、安心して購入できる生協は価格以上のもの、『今だけ金だけ自分だけ』の対極が生協の原点で、県内や地域の産直を強化できるのが直売所やデポーです」という言葉から、まさに生活クラブだ！と思いました。

弁護士（元農林水産大臣）の山田正彦さんは、イネの種子「みつひかり2003」（牛井チェーン店やスーパーで採用）に関する刑事告発について、「種子法廃止の根本的な誤りとして想定されていた、民間の種子事業参加による問題点です。みつひかりの異品種の混合や発芽率（90%以上と表示しながら多くが遥かに及ばず）・産地の偽装があり、1400haの全国の作付け農家が田植えの準備の最中に、大手総合化学企業は突然タネの出荷を停止。農家はパニックになりました。しかし、農水省は同社を行政処分ではなく、厳重注意と判断。あり得ません」。熊本県立菊池農業高等学校の生徒が「農業科では、自然由来の肥料に変更し有機農業に取り組み、フランスの高校生との交流や、菊芋を熊本県立大学の研究用材料として栽培・提供するなどやりがいを感じています」と報告。

パネルディスカッションでは、遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーンの天笠啓介さん・生産者・グリーン

コープ生協くまもと理事長の小林香織さんがそれぞれの取り組みを報告。天笠さんは「ゲノム編集技術が成功していると言っているのは日本だけで、環境や食の安全の評価なしで販売されています。これは遺伝子組み換えされていないからという。本当にこれで良いのか…消費者が注視しないといけませんが、原材料表示がないので知らずに食べてしまうなど問題ばかりです」。

最後、GMOフリーゾーンの報告では、登録農地は鈍化しているが392ha増え10万7311ha、サポーターは27,862人。各生協からナタネ自生調査や自治体への要望書提出などの活動が発表されました。深町知子

### 2日目：オプションツアー水俣

小学生の頃教科書で「水俣病は4大公害病の1つ」と習っていましたが、初めて現地に行きました。

熊本駅からバスで約2時間。茂道漁村（被害が大きかった漁村）の今のようす・水銀ヘドロ埋立地親水護岸の慰霊碑・工場からメチル水銀が未処理のまま排出されていた百間排水口・水俣病歴史考証館を見学。お茶農家の松本さんの「水俣産は魚だけでなく野菜やお茶も売れないので、無農薬・無肥料に挑戦している」という話に引き込まれました。「水俣病」は今もなおその存在や差別は地域に残っていて、まだ終わっていないのだと思いました。

竹原久美子

## 募集：信州飯綱高原でジュース用 トマトの収穫



トマトジュースの原料（加工用トマト）の生産を、組合員が手伝っていることをご存知ですか？

日程：8月22日（木）～24日（土）（2泊3日）

参加条件：経験・性別不問。組合員及びその家族で18歳以上（高校生不可）＊生産者の指示に従い日程期間中作業を行う体力があり、最低限の団体行動がとれること。

作業時間：3日間合計で実働12時間（途中休憩あり）

1日目/午後のみ、2日目/午前と午後、3日目/午前のみ（長靴・合羽持参。多少の雨でも作業します。激しい雨天の場合は中止もありその場合の報酬はありません）

参加報酬：日給4,000円（このうち生産農家負担2,000円）

自宅から集合先までの往復交通費は一律1,400円支給  
集合先から現地まで（高速バス使用）の往復交通費と宿泊料は

自己負担なし

集合解散：新宿駅西口7：30集合、19：30頃解散予定

募集人数：虹の街（生活クラブ千葉）より10人

応募者多数の場合は抽選。「計画的労働参加」は、対価のある「労働」で、必要人数を確保する必要があります。抽選に外れた方はキャンセル待ちとさせていただきます。

申込締切：5月24日（金）厳守

6月中旬に結果をお知らせし、参加決定者には詳細を連絡します。



問い合わせ・申し込み：事業部  
tel：043-278-7693（森山）

# ひと



野菜作りは楽しいので負けずに精進していきます。

就農の経緯・年数・圃場の場所・主な栽培野菜等について教えてください。

家が農家で高校卒業後に就農して、25年がたちました。圃場は、千葉県北東部の旭市です。

自家製堆肥を中心に土作りを行い、減農薬栽培に取り組んでいます。主にははればれ育ち大根・はればれ育ちキャベツ・人参をつくっています。

今後どんなことをしたいですか。

組合員さんとの交流・デポーでの直接販売などです。また、産地に来ていただき、野菜のできるところや畑のようす・収穫

穫など実際に体験してほしいですね。

組合員に伝えたいことなど 教えてください。

肥料・燃料等の農業資材の急激な価格高騰は農業経営へ大きく影響を与えています。また、近年は異常気象による大型の台風や大雨等の被害も増えてきていますが、野菜作りは楽しいので負けずに精進していきます。

好きな消費材は何ですか。

牛肉です。赤みの牛肉が好きなので。



生活クラブの農産物の生産者の中でもこだわりの提携産地は、県内にも8産地。今回は旭市を中心に1994年から生活クラブとの提携が始まった(農)村悟空(さん)の嶋田さんに話しを聞きました。

嶋田武志さん



生活クラブで取り扱う野菜はすべて、アースメイド野菜と呼びます！

生産者と一緒に土づくりから始め、化学合成農薬や化学肥料はできるだけ使わず「いつ・誰が・どこでどのようにつくったか」という栽培履歴をすべて明らかにすることを基本としています。

新鮮・安心・おいしい。サステナブル(持続可能)な作物づくりをしています。



あっぱれ育ち：栽培期間中、化学合成農薬と化学肥料を使用しないで育てました。



はればれ育ち：栽培の畑では化学合成農薬や化学肥料をできる限り減らして育てました。



たぐいまれ：「特徴のある味を持つ品種」や「地域で昔から栽培している品種」です。

## ブロック活動ファイル

### 柏 おいしいものマルシェ in 流山

1月27日、デポーおたかの森で開催した、おいしいものマルシェ。組合員の手作りダレで焼いた鰻と焼き鳥を店頭販売。隣ブースのりんご詰め放題では、環境のことも考えカタログで袋を作成。店内では生まぐる解体即売会。ごまの生産者(株)真誠・営業部の内野昇さん(写真右)から、ごまの話を聞きました。有料のオリジナルふりかけ作り・ごますり体験は大盛況で、お昼すぎにはほぼ完売しました。まぐるの解体即売やごますり体験など初めての子も多く、親子で目を輝かせて楽しんでいたのが印象的でした。地域的に子どもが多いので、生活クラブの良さを、より多くの若い世代にも知ってもらえるよう引き続き盛り上げていきたいです。

運営委員 高野真衣子



すったごまは、ストラップ付きの容器(矢印)に入れてお持ち帰り

### 千葉 親子で楽しく!天然酵母ピザ作り



1月28日、千葉市花見川区の花鳥コミュニティセンターで、コミュニケーションひろば講師の吉村久美子さんを招いてピザ作り講座を開催。日曜日ということもあり、子どもも含めて18人が参加しました。

3歳から小学生までお子さんも楽しみながらピザをつくりました。市販品と消費材のウインナーの違いを知る添加物実験や、食べ物に関する絵本読み聞かせなども行い、みんなとても熱心に参加していました。みんなで食べた焼き立ての個性豊かな手作りピザは、とってもおいしかったです。

チキンドリアソースと茹でたスクリューマカロニをフライパンで合わせたパスタも簡単でおいしく、家でもつくってみたいという声がたくさん聞かれました。 運営委員 今野香織

\*吉村さんの講座は、コミュニケーションひろば 食42 講座名：自家製天然酵母パン です。

\*筆者は、共に2023年度



コミュニケーションひろば

コミュニケーションひろばって？

コミュニケーションひろばは、子育て、食育や健康・生活文化などをテーマに組合員どうしで学びあう場として、2008年から始まりました。組合員の特技を講座として登録してもらい、組合員やコミュニティが、自主的にその講座を受講できるしくみです。仲間づくりや街の縁側地域づくりの視点から、ブロック運営委員会での活用も目的としており、現在はこの使われ方がメインとなっています。

2023年度の報告

コロナ禍での活動規制も緩和され、リアル開催がメインとなりました。全体の開催実績は以下の通りです。参加人数が2023年度から大幅に増加しました。8件の加入にもつながら、拡大と利用推進を意識して、組織的に活用されているようです。

特に2022年度に養成講座で講師が増えたピオサポマイスター講座が積極的に活用されました。

2024年度の講座について

2023年度の講座は、41講座が継続、新規が3講座、計44講座です。新規の講座のテーマは、子育て支援が1講座、コミュニケーションが2講座です。

講座は原則として有料です。費用は3千円から上限1万円ですが、無料の講座もいくつかあります。ブロックによつては費用の補助制度も設けています。風の村やアーシアン・ワーカーズコレクティブ千葉県連合会・せつげんの街等、生活クラブ千葉グループの講座は自治会・子ども会など団体の企画として活用することも可能です。

本紙と同時に講師料や講師の対応可能エリアなど、講座開催の目安となる情報を掲載したダイジェスト版を配布予定です（デポはフロア）。詳しい資料は所属のブロックまでお問い合わせください。

組織部 中井孝子

2023 年度実績

開催回数	65回 (前年比+8)
開催講座	21/53 講座 (前年比-5)
参加延べ人数	881人 (前年 642人 前年比+236) 内訳：一般組合員 447人、子ども132人、員外81人(加入8)、主催者221人
開催主体	ブロック52回、ブロック・コミュニティ共催3回、コミュニティ単独8回、本部2回
開催形式	実開催58回、併用3回、Zoom4回

食 38

講座名

安心・おいしい天然酵母のパンづくり

講師：宮本菜生子さん  
開催日：2023年9月27日  
主催：柏ブロック  
参加人数：9人（うち員外3人）  
費用：6000円（講師料）  
314円（交通費）  
1500円（参加費）

会場：デポおおたかの森 2Fこだち

企画名：天然酵母で作るパン講座

生活クラブの消費材を使った定例パン講座。すぐにお家で実践



践しようと、ほとんどの参加者が、その日使った消費材をデポで買って帰るといふ人気企画です。員外参加も多く生活クラブに加入するきっかけにもなっています。

当講座は、年間で7回開催、のべ57人が参加しました。

## ビオサポ

講座名

### ビオサポマイスター講座

講師：田中香麗さん

開催日：2023年12月15日

主催：消費委員会

参加人数：25人

費用：5000円（講師料）

3000円（参加費）

会場：真砂コミュニティセンター

企画名：旭あいのう米生産者交流会 第2部ビオサポマイスター講座：祭り寿司

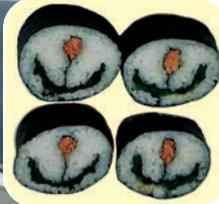
旭あいのう米の生産者、若梅繁由さんを招いた生産者交流会。父の後を継ぎ、専業農家として36年。今では耕作面積は65



左が生産者の梅若さん



祭り寿司の実演



↑祭り寿司

祭り寿司を試食しました。

ヘクターール(東京ドーム14個分)を超えています。農業の削減に努め、田んぼの個性に合わせた品種の選別・栽培を行うことで大きな面積でもしつかりとお米を栽培し続けることの苦労がわかりました。  
第2部では、千葉でできたお米で、千葉名産の祭り寿司をつくってみよう！とビオサポマイスターの田中さんがつくり方を説明。参加者も一緒につくった

## コミュニケーションひろば を利用しよう！

あなたも  
気の合うお友だちと  
コミュニケーションひろ  
ばを開いて、楽しく・学ん  
でみませんか。

子育て・食・健康・生活文化などをテーマに組合員どうしで学びあう場として、組合員・コミュニティが自主的に開催できる講座です。またブロックでは、仲間づくりや街の縁側など、地域づくりのための活用も行っていきます。2023年度に開催された人気の講座を紹介します。

## 食1

講座名

### パン&ケーキ&パスタづくり

講師：大塚弘子さん

開催日：2024年1月31日

主催：ベイブロック

参加人数：17人

費用：5000円（講師料）

3000円（参加費）

会場：谷津コミュニティセンター

企画名：地域集会&ホワイトピザ作り・試食会

昨年ブッシュドノエル作り企画で大好評の大塚さんとまた一緒に！という声から2回目にはホワイトピザづくり。使用する消費材の優位性や生産者の話などを交えてレシピと調理のコツを

わかりやすく丁寧に教えてくれます。オーブンにお湯を入れたコップを置いて生地を発酵させるエコな発酵方法を教わりました。生地を捏ねる、伸ばしてトッピング：と身体を動かして参加者が協力することで自然と交流しました。親子・員外のお友だち、地域の組合員と幅広い参加者と共に楽しみました。  
実習中に参加者が協力することで交流がすすみ、地域集会では、活発で率直な意見を交換する場の環境づくりのサポートにもなりました。





生活クラブ風の村

事業本部：佐倉市山崎 529-1



tel : 043-312-0833 fax : 043-312-0208  
<https://kazenomura.jp/>  
 e-mail : info@kazenomura.jp

支援ニーズをカタチに ～ 風の村のソーシャルアクション

社会福祉法人は、その事業活動を通じて地域貢献活動の実践が求められています。私たちの持つ資源やスキルを生かし、関係機関と連携することで、地域では一つ一つ安心した暮らしのための具体的な実践が始まっています。また、職員や地域住民・高齢者や障がい当事者ができることを持ち寄っていきいきと活動できるようコーディネートしています。

● 地域の高齢者を見守り支える

風の村には県内各地に複数事業拠点があります。そのうちの6カ所で展開する「安心システム」ではサロンや地域食堂を開催、地域の高齢者が集い、交流や相談支援・活動参加にもつな

がっています。活動資金は風の村の事業収益から捻出、拠点の持つ機能を生かして高齢者の生活の不安に 대응しています。

● 精神障がい者支援の充実のために

精神疾患は支援策の充実が必要な分野。この支援のために寄せられた寄付を原資に基金を創設し、佐倉市に精神疾患専門の訪問看護事業所 Arica を開設しました。また当事者と支援者が共に取り組むことで回復につなげる「リカバリーカレッジ」の準備会を県内4カ所に立ち上げました。2024年度は具体的な活動が始まっています。

● すべてのこどもの笑顔と健やかな育ちのために

重い病気や医療的ケアが必要なお子



風の村光ヶ丘でのサロンではヨガもさんとその家族が、ケアを受けながらゆっくり過ごすために意志あるメンバーで立ち上げた「ちばこどもホスピスプロジェクト」に参加。季節イベントは風の村の保育園を使い、複数の職員が自主活動として各々のスキルを提供しています。

また外国につながる子どものなかには、生活に馴染めない親のためにケアラーの役割を担ったり、母国との教育制度の違いで進学が難しい場合があります。学校への理解を促し、支援機関の連携をすすめるための円卓会議を行う活動に参加しています。

総務課 プロフェッショナル 岩上章子

アーシアン

事業本部：千葉市美浜区真砂 5-21-12 1F  
 開所時間 13:00～16:00 (水・土・日・祝日休み)  
 tel & fax : 043-279-8665  
<https://www.jca.apc.org/earthian/>  
 e-mail: earthian93@jca.apc.org



NPO 法人地球市民交流基金 EARTHIAN  
 第 19 回定期総会と交流会のお知らせ

日時：6月13日(木)  
 総会 13:30～15:00 (受付開始 13:15)  
 交流会 15:15～16:00  
 会場：生活クラブ虹の街本部 1F 地域交流スペースなぎさ渚

～会員募集中～

アーシアンはパキスタン・カラチのスラムにある無償の学校アル・カイールアカデミーの縫製科を支援しています。縫製科の授業は女生徒たちが技術を身に付け家族を経済的に支え、何より安心して学べる場所となっています。この支援は会員の皆さまからの会費で成り立っています。ぜひ、会員になって一緒に支えてください。



\*生活クラブ組合員の方は、共同購入代金引き落とし月払い(毎月500円)もあります。



はぐくみの杜を支える会 住所：君津市糠田 64 番地



tel & fax : 0439-32-2270  
<https://hagukumisasaeru64.wixsite.com/home>  
 e-mail: hagukumi-sasaerukai@aroma.ocn.ne.jp

はばたき基金へのご参加ありがとうございます!

施設を巣立った子どもが、夢や希望を描くスタートラインに立てるよう応援する「はばたき基金」。

2023年度もたくさんのご協力をいただき、ありがとうございます。目標250万円のところ、のべ350人から3,009,620円(3/23現在)の寄付が集まりました。

新たに施設より巣立つ3人の子どもたちの、資格の取得・進学の際の入学金などに役立てました。また5人の学生の月々の生活の支援もできました。

暮らしが安定することで、子どもたちは安心して自分のやりたいことを頑張れます。皆さまの温かなご支援に、改めて感謝申し上げます。

特定非営利活動法人はぐくみの杜を支える会 第9回通常総会

日時：6月1日(土) 13:00～15:00 (終了予定) 総会・施設報告会  
 会場：生活クラブ虹の街本部 1F 地域交流スペースなぎさ渚 (千葉市美浜区真砂 5-21-12)  
 総会後、施設長より子どもたちの普段のようすを聞く報告会を開催します。\*5月23日(木)までにQRコードより申し込みを!



(NPO) 日本ファイバーリサイクル連帯協議会

事務局：千葉市中央区都町 3-14-10

tel & fax：043-234-1206

(9:00～19:00 木曜定休)

e-mail: jfsa@f3.dion.ne.jp



検索 日本ファイバーリサイクル

JFSA の古着ショップ 駐車場有

10:30～19:00 (千葉のみ木曜定休)

千葉店：千葉市中央区都町 3-14-10  
Instagram jfsa\_usedclothing

柏店：柏市大室 176-1  
Instagram kapre.usedclothing

アル・カイルアカデミーの生徒／輸出報告／5月の回収に向けて

パキスタンでは引き続き厳しい経済状況が続いています。仕事のためなどを理由に学校を中退することのないよう、アル・カイルアカデミーでは生徒たちが学び続けるように本人や家族を説得したり、必要に応じて食料支援も行っています。その結果、生徒数が大きく減ることがなく推移しているそうです。写真のアディール君はアル・カイルカレッジへの進学を希望していましたが、自宅からの通学にバイクが必要でした。彼は卒業後、家族で営む野菜販売の店で働いてお金を貯め、この中古のバイクを購入し、1年遅れでカレッジへの入学を果たしたそうです。インタビューに「カレッジの後には大学に進学したい。そしていつか

自分で何か事業を立ち上げ成功させたい！」と語ってくれました（詳細はJFSAのHP掲載の記事をぜひご覧ください）。

昨年はタイへ4回コンテナを輸出しました。同時に事務局のタイ派遣を通して現地の需要を確認し、タイとパキスタンそれぞれのニーズに合わせて衣類等の選別方法を変更しています。

今年2月15日には通算で84回目のコンテナを約1年5ヵ月ぶりにパキスタンへ輸出することができました(23.2トン)。現地で需要の高い毛布などかさばる物も多く積んだため重さは少なめですが、販売利益が増加し、アル・カイルへの支援を大きくすることを期待しています。

5月には配達便での回収が予定されています。JFSAでは目標としている



回収量に届かない状況が続いています。引き続きご協力をお願いします。

←アディール君とバイク

↓第84回送り出し集合写真



お知らせ

第48回通常総代会  
傍聴のご案内

来る6月18日(火)、  
第48回通常総代会開催に  
あたり傍聴を受け付けます。

定員：10人  
締め切り：5月24日(金)  
午後5:00

傍聴を希望される方は、  
各ブロック事務局まで  
ご連絡ください。

こんにちは！赤ちゃん♪  
せっけんプレゼント  
お誕生おめでとう！

せっけんを使うことで環境問題を考えるきっかけにしてほしいと、お母さんと赤ちゃんに、生活クラブのせっけんを贈ります。

佐藤 梗禾 (きょうか) ちゃん	2023.10
宮倉 綺菜 (あやな) ちゃん	2024.02



2024年度の  
プレゼント

国産せっけん1個  
・台所用液体せっ  
けんおれんじ  
200ml・絵本「せっ  
けん生活始めませ  
んか？」などです。



配達時またはデポフロアに提出してください。

虹の街は誰もが安心してらせる地域づくりに取り組んでいます。千葉県と6生協が協力し、くらしに関する情報をお知らせします。

5月は「消費者月間」

商品を購入したり、サービスを受けた際に発生した消費者と事業者とのトラブルなどについて、お困りの際は、下記消費生活相談窓口にご相談ください。



千葉県消費者センター

tel: 047-434-0999

受付時間 月～金曜日 9:00～16:30

土曜日 9:00～16:00

(日曜・祝日・年末年始はお休み)

消費者ホットライン

tel: 188 (いやや泣き寝入り)

最寄りの消費生活相談窓口につながります。



チャーバくん

組合員氏名	組合員番号			申込 締切
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請書 (太枠の組合員氏名と番号を記入してください)				1歳の誕生日の前日までに申請してください。 ↑WEBからの申請はこちらから
赤ちゃんの なまえ	ふりがな	赤ちゃんの生年月	20 年 月 生まれ	
		(男・女)		
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。 (はい・いいえ)				



元気クラブ

農産物が連合組織になる以前に生活クラブ(千葉)が単独で農産物を取り組んでいた時代に発足。「元気クラブ」として1994年3月に、県内の青果物の生産者8団体と米の生産者2団体の10団体で構成・設立されました。

現在は、青果物の提携産地8団体(右図)・ちばあさひ米の生産者JAちばみどり旭自主開発米部会・共同農園の虹と風のファーム(農仲舎)と生活クラブの11団体です。

元気クラブは、生活クラブと一緒に共同購入運動に参加する第一次産業の生産者の会として「食と農を大切にする社会をつくろう!」を合言葉に交流・学習・運動に取り組んでいます。

オール千葉で

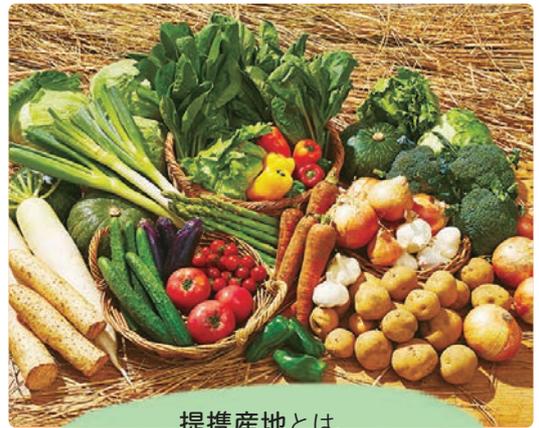
カレーライス野菜がそろおう!

「カレールウと肉を加えれば、オール千葉産でカレーが作れる! 端境期の11月でもこの食材を県内で集められるのは、温暖な気候と幅広い生産体制の千葉県ならではのですね」と、かつての元気クラブ会長の言葉です。

GMOフリーゾーン

2022年12月~23年2月に実施した「GMOフリーゾーン看板修繕カンパ」は、おおぜいの組合員の賛同により、108万7,353円が集まりました。

23年4月11日、遺伝子組み換え作物・ゲノム編集作物を作りません!と宣言する元気クラブにカンパ金が贈呈され、生産者の皆さんの圃場などに新しく、大中小の看板が設置されました。(表紙参照)



提携産地とは、

独自の基準で野菜をつくり、栽培履歴を明らかにし、産地見学など組合員との交流もある産地のことをいいます。

いつ・誰が・どこでどのように

作ったかをすべて明らかに

提携産地は全国に68、指定産地は300

千葉県内の提携産地は8産地

- ・JAちばみどり旭サンフレッシュ部会(旭市)
- ・JAちばみどり海上野菜組合産直部(旭市)
- ・農事組合法人さんぶ野菜ネットワーク(山武市)
- ・三里塚農法の会(芝山町)
- ・立野園芸出荷組合(八街市)
- ・(株)アグリイノベーションズカンパニー(旭市)
- ・農事組合法人村悟空(旭市)
- ・安全農産物普及会(千葉市)



お休み  
5/3~5・12・19・26  
6月 日曜定休

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

デポー情報 →



デポーキャンペーン 2024年春実施中! 5/31まで

- ★お友だちを紹介してください。  
お友だちがデポーに来てくれたらあなたにもお友だちにもお買い物券(500円)プレゼント。お友だちの加入で、あなたにもう1枚お買い物券プレゼント。お友だちへの加入プレゼントも充実!
- ・初めてデポーに来てくれた方に無料サンプルプレゼント(豚肉またはおすすめの野菜←選べます。員外の方のみ)
- ★青果キャンペーン 5/20~25(最終) 5% off  
毎月1回(1週間)提携産地の野菜

生活クラブ 春のデポーまつり

- ・まぐろ 5/17 10% off  
週末まぐろ入荷デポーを除く
- ・スペシャル鮮魚市 5/18
- ・鮮魚:かつお お買い得 5/16~18
- ・生産者来所 おすすめ消費材 5% off
- ・各デポー/ブロック企画各種

5/17・18 ポイント3倍!



- 生まぐろ入荷 5/10 園生 5/17 大津ヶ丘 5/18 松葉町 5/24 新松戸 5/25 浦安

5月のデポー



- 黒豚入荷 5/9
- 平牧金華豚入荷 5/16
- ほうきね牛入荷 5/11・25・6/1



母の日フェア 5/10・11

- 牛肉ステーキ用・ワイン全品 5% off
- 開拓牛を使ったプルコギ・韓国風牛丼 10% off



新茶・和菓子ウィーク 5/13~18

- 一口ようかん4品 5% off



化粧品ウィーク 5/13~18

- ルリーフェ・ピマシェのおすすめ品 5% off



タイハイ・共生食品ウィーク 5/20~25

- 生産者とそれぞれの消費材を紹介

加工肉ウィーク 5/20~25 7月まで月替わりで各2品目 10% off

牛乳キャンペーン 5/20~6/1

- 期間中4品がお得



冷凍品お買い得の日 5/22 冷凍品2P以上の利用 5% off

スタミナ涼味フェア 5/24・25

- 各デポーおすすめの牛豚肉各1品目・手延べそうめんなど

W.Co 凡ウィーク 5/29~6/3

- ジャム・シロップ紹介。人気品目 5% off



初夏の旬菜フェア 5/31・6/1

- 提携産地の旬の野菜が入荷。  
まぐろ(真砂を除く)・スパゲティのおすすめ品など

